

池田会長、井戸支援の カンボジア・トラペアンルーン村を 訪問

7月23日(土)～29日(金)までの7日間、当協会を代表して、池田会長がこれまで7基の“NOGIMACHI-IDO”を寄贈したカンボジアのトラペアンルーン村を訪問し、井戸の見学と村民との交流を行ってきました。

井戸の見学では、実際にきれいな水が寄贈した井戸から汲み上げられることを確認したり、現地に行ってみて新たな発見もありました。

それは、村人なりの工夫で、井戸本体からパイプを通し、水圧を利用して甕に水を貯め、いつでも使えるようにしていることと、それらの水を飲水とするため、甕の近くに浄水器(装置)を置き、より浄化した状態で水を飲めるように工夫していることでした。今後の支援の一つの形かもしれません。



村民との交流では、トラペアンルーン小学校を訪問し、子どもたちと触れ合い、町から預かった文具やノートなどをプレゼントしました。

また、集まってくれた村人との青空集会では池田会長が井戸支援の話をするると、一人の女性から「井戸がほしい！」との新たな要望を受けることとなり、考えましようと言うしかありませんでした。この村は野木町の約2/3の面積の中に、約170世帯、760人ほどが住む村であり、野木町が833人/㎢であるのに対し、38人/㎢と

う散村のため、1つの井戸を数十件で共有するということができない事情があるのです。

第40回野木町文化祭

10/28(金)～10/30(日) 9:00～16:00
今年は展示発表部門のみに参加します。

※なお、上記のカンボジア訪問については、野木町文化祭で写真展示として発表致しますので是非、ご覧いただきたいと思ひます。

事業部より

① 7 / 17 (日) 日本語教室の最終日に、今回は外国人のための習字教室を開きました。今回は参加者が少なく、すこし寂しい結果となりましたが、参加された3名の外国の方々は、初めて手にする筆と墨に興味津々の様でした。

② 8 / 28 (日) 外国料理シリーズとしてブラジル料理教室を開催しました。

当日は5名の日本人と1名のブラジル人が参加し、講師のダイアニ・ワダさんの指導で、チキンタルト、チーズパン、パステルの3種類のブラジル料理に挑戦。教え方が上手だったのか、どれも大変美味しく出来上がり、大満足の料理教室でした。

③ 同日の午後、丸林中央公園にて、日本語教室の生徒を中心に日本人の先生方や外国の人たちが集まり、総勢23名で野外でのバーベキュー・パーティが行われワイワイガヤガヤ楽しいひと時を満喫しました。



④ この夏、事業部の新たな取り組みとして、外国人児童への学習支援活動を始めました。ここで問題になったのが、両親が共働きのため学童保育に預けられる児童が多く、日本語学習が必要な一部児童に支援の手が届かないという問題があるということでした。基本的には町の問題ではありますが、当協会としても、重要な問題と捉え、今後とも考えていくことにしました。

情報交流部より

① 「おもてなし英会話」全4回が8月20日から16名の受講生の参加で実施されました。講師のディー先生(ALT)の巧みなリードで、受講生も乗せられ楽しい英会話となりました。

・第2回の「おもてなし英会話」が同じ内容で11月下旬に開講予定ですので、興味のある方は参加されたら如何でしょうか？

② 「読み聞かせ英会話」全3回が5組の親子が参加され、ディー先生の多彩な進め方で子どもたちも飽きることなく英語と親しみながらゲームなどに興じ、楽しい時間を過ごしていました

③ 「英語による文化財ボランティア養成講座」が10月29日から4回の予定で実施されます。2020年の東京オリンピックに向け、野木町を訪れるであろう外国人に野木町の煉瓦窯をはじめとする文化財を英語でガイドできることをめざす4年がかりの大プロジェクト(?)です。

会員のみなさん、挑戦してみても如何でしょうか？！

④ 「大人のための世界史講座(6)」再び“世界戦争”が起こったその理由? —第二次世界大戦前夜一が11月17日(木)と11月24日(木)の2回シリーズで行われます。

ちょっと、難しいテーマですが、昨年秋の講座のテーマであった「第1次世界大戦」の続編



です。興味のある方は如何でしょうか？